

長泉さわやかハイキング報告書

文・鈴木恵美子 写真・後藤

山行番 NO. 1556
日時 2013. 07. 21 (日) 曇
山域 富士山・宝永山2352m峰
コース 高鉢登山口発7:47-御殿庭分岐10:00-2352m峰10:30-新六合分岐
11:00-2352m峰11:20-御殿庭11:30~13:00-二ツ塚上塚
14:19-下塚-御殿場口二合目14:58-御胎内温泉

標高差 上り 高鉢登山口1655m~新六合分岐約2470m=約815m
参加者 後藤、浜道、尾関(一般)、山本(一般)、土屋、服部、下山、天野、渡辺万、井上、小松、掛橋、秋山、勝又薫、長井、世古進、伊藤、村山章、室伏、峰田、長谷、鈴木恵、勝又陽、世古悦、沖(一般)=25名

朝から空は曇っていた
皆を乗せたバスが高度を増すと
幸運にも木々の間からくっきりと富士山を見る事が出来た。(ラッキー)
高鉢登山口に到着後、簡単な自己紹介とラジオ体操がすむといよいよ出発です
高鉢コースは苔むした石や倒木があるオゾン一杯の森林帯です
木漏れ日が気持ちのいいなか緩やかに登っていきます
バイケイソウの花を初めて見ましたが白くて可愛い(香りはちょっと・・・)



春蝉が止まったバイケイソウ
(大菩薩の時は大合唱だった)



冷えたスイカ



苦しい上り

ガラン沢コースの合流点位から苦しい上りが続く、休憩も多くなる
冷えたスイカやパイナップル等色々差し入れが回ってくる
熱い体に冷えた果物は美味しい！！
御殿庭下を過ぎさらに苦しい上りが続き、御殿庭中手前で一般参加の一人がこれ以上無理と講師が判断し列を離れることになる
Iさんを先頭にさらに上を目指す
森林限界を過ぎる頃には霧が出てきたが、時折宝永山の赤岩が見え隠れする
2352m峰まではあと少し、足元の砂礫が歩きにくい
10時30分到着！！
まだ時間があるので荷物をデホして新六合目分岐を目指す



深山男蓬



2352m峰

一般参加の二人を御殿庭に連れていくと講師が2352m峰まで迎えに登ってきた霧も晴れてくると宝永第二火口が現れ改めてその大きさに感嘆する
再びここが噴火することがあるのだろうか？
新六合目分岐まで登った人達も下って今日の昼食場所の御殿庭に向かう



御殿庭に下る

(何度かここ2352m峰から御殿庭に下ったことはあるが、この景色が私は好きだ)

11時30分昼食の焼き物大会の開始です
女子がトイレ用のツェルトを張り、その間に男子が焼き物の準備をする
一人一品の持ち寄りで普段の昼食より豪華な食事になる
ビールで乾杯しコンロで焼いて暖かいものを食べる



山の昼食



焼いている人は忙しいが、大勢での食事は楽しくて美味しい
ワイワイ・ガヤガヤ、楽しい時間は「あっ！」という間に過ぎる
後片付けはしっかり！
登山者の絶対のルール

御殿庭上



御殿庭上からは涸れ沢沿いの樹林帯を下る
砂礫の足元は滑りやすく歩きにくい、いやでも足が前に出る
樹林帯を抜けると火山砂礫の原に出ると辺りは遮る物がない広い原が広がっている
幕岩上・四辻を過ぎると二ツ塚（双子山）が見えてくる



上塚 1902m

下塚 1804m



二ツ塚上塚



有志9名が上塚へ、3人が下塚へ登る
旧二合目大石茶屋で皆と合流
茶屋は富士山から下山してきた人達で賑わっている
駐車場まで戻ると予定通りの3時！見事でした



御殿庭

その他の記述（L後藤）

1. 一般参加のYさんは、歩き始め30分で不調。聞けば、・就寝が遅く睡眠不足・朝食をしっかりと食べてこなかった・元々運動不足、が原因の様子。
2. 樹林帯でバイケイソウが豊富。この植物は鹿が食べない。
3. 冷えたスイカ・パイナップルは美味しかった。御馳走様。
4. 御殿庭・二ツ塚・御殿場口分岐で、不調のY、同行のOさんと御殿庭に下る。10分くらいで着いたので正解だった。
5. 皆に遅れはとったが、歩荷で2352m峰まで上った。
6. 御殿庭は相変わらずイイところ。イワシの煙が凄く「宝永山噴火??!!」のジョーク。
7. 御殿庭下で須山口を上って来たという三人娘と会った。元気イッパイ。
8. 二ツ塚上塚の上りはキツかった。(笑)
9. 観察した花
梅蕙草・深山男蓬（みやまおとこよもぎ）・岩黄耆（いわおうぎ）・虎杖、痛取（いたどり）
紅虎杖・小葉一葉草、御蔘（おんたで）、など

以上